

こお・ひろお
康浩郎 監督作品 上映会 + 写真展

帰還船1959

第一船

この映像は、61年前の1959年12月14日に新潟港を離岸した、いわゆる北朝鮮帰国事業の第一次船・出港を康が自ら撮ったフィルムアーカイブのラストショットである。

今になって、フィルムアーカイブの上映に踏み切ったのは韓国への《脱北者》のなかに《元在日》がいて、ニッポンにも既に200人以上が戻ってきている...という想像もなかった出来事による。その戻ってきた元在日に見て貰おう、お見せする義務があると思ったからだ。

帰還船に乗り込むまでの帰国者と家族は、それぞれに「在日」百年の間に蓄積された、持続的で臨機応変に考え、対応し、行動する生活態度「ハビトゥス」を《日常》として身につけてきた。出港を告げるドラの音とともに船と岸壁とは無数のテープで繋がれ、やがて切れる...その瞬間から帰国者はその《日常》からも《切り離され》「ハビトゥス」も不要に。

しかし、再び世界に戻るとうとする時、人は失われた「その瞬間」からしか戻れない！自分たちには見えなかった「その瞬間」をお見せしたい！そのためアーカイブ・フィルム作品である。

康浩郎



12月19日(日)

会場

班家食工房

大阪市生野区桃谷 4-5-15



1月22日(土)

神戸学生青年センター

神戸市灘区八幡町 4-9-22



トーク

むん・ぎよんす

康浩郎 監督 × 文京洙さん

(立命館大学名誉教授)

ひだ・ゆういち

康浩郎 監督 × 飛田雄一さん

(神戸学生青年センター理事長)

上映スケジュール

(両日とも2回)

① 11:00～ 上映会のみ (約1時間)

② 14:00～ 上映会 + トーク (約2時間)

共催 科研(新学術領域)「市民による歴史問題の和解をめぐる活動とその可能性についての研究」(課題番号 17H06338)
神戸学生青年センター

お問い合わせ ■ ijichi@osaka-cu.ac.jp



※新型コロナウイルス感染症の対策のため、各回のご入場は当日先着順50人に限定します。予めご了承ください。

※各回上映開始30分前より受付を行います。検温や手指消毒にご協力をください。ご来場の際は必ずマスクをご着用ください。

※10:30～17:00で会場にて写真展を開催します。上映時間外にご覧ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、日程変更の可能性がございます。